風の萌

特定非営利活動法人（NPO）
在宅ケアを支える診療所・
市民全国ネットワーク機関紙

第 043 号

2018 年 9 月 10 日

安心して子育てができ　老いても障がいがあっても　自分らしく暮らすことができる　コミュニティーの創造

第24回 全国の集い in Osaka 2018
理事会企画 のご案内

今大会の理事会企画は『**地域包括ケア**』、『**多職種連携**』をテーマで行います。

今回のようなテーマの場合、それぞれの個別地域での具体的対応に対し、具体的な解決に向け、時には混乱と戸惑いの要因となることがあります。

今回の企画は「**解決への一つの具体的提案**」となることを目指しています。是非とも今後の活動のヒントを見つけていただく事を希望します。

第2日　9月24日（祝）

施設名	
会場名	第2会場
会議室名	小ホール
収容	172席
8:30～9:00	NPO総会
9:00～9:30	理事会
9:30～12:00	【理事会企画】 在宅医療推進事業の成功要件 ～先進自治体の例から学ぶ～ シンポジスト: 川名理恵子（横須賀市健康保険部地域医療推進課） 関根 伴和（新潟市保健衛生部地域医療推進課） 堀木 星治（北名古屋市福祉部高齢福祉課） 澤井 潤（株式会社メディヴァ） 座長：大石 佳能子（株式会社メディヴァ）
13:30～14:00	
14:00～16:00	【理事会企画】 多職種連携のコンピテンシーについて（仮） 講師：春田 淳志（筑波大学附属病院　講師） 座長：小倉 和也（NPO法人Reconnect理事長）

2日目　（ 9:30～12:00：小ホール）

『在宅医療推進事業の成功要件』
ー先進自治体の例から学ぶ

全国の 1731 自治体に対しアンケートを行い 213 社から頂いた回答の分析結果の報告。

先進的な取り組みを行っている 3 自治体（横須賀市、新潟市、北名古屋市）のご担当者にご登壇いただき、その取り組みについて語っていただきます。参加された方々がそれぞれの地元での対応の参考としていただく事を目的に企画いたしました。

2日目　（14:00～16:00：小ホール）

『多職種連携のコンピテンシーについて』（仮）

他職種協働・他職種連携に関しては、様々な手法はありますが、その一つの実現に向けた提案です。まだまだ個人的な連携に頼る例が多い中で、少し視野を広げた提案・紹介を行います。各地での「協働・連携」に活かしていただきたいと考えています。

実践交流会

毎年、様々な演題が発表される実践交流会ですが、今年も多数の発表が集まりました。
大会当日に来られる会員の皆様へ向けてカテゴリー別の演題を掲載致します。なお、掲載順は極力最新の発表順を掲載しておりますが、決定ではありませんので注意して下さい。

演題は、8/26 時点での情報を元に作成しています。追加情報は、随時ホームページに掲載致します。

カテゴリー１　「在宅生活の継続」

座長：小倉和也（はちのへファミリークリニック）
山寺慎一（医療法人菜の花会　菜の花診療所）

1. **独居の在宅療養生活**
   志村　緑（医療法人社団佐倉の風　さくら風の村訪問診療所）
2. **在宅ケアにおける有床診療所の役割**
   赤嶺　麻衣（医療法人優心会　ハートクリニック　病棟）
3. **有床診療所に対する同時改訂の新たなメッセージ**
   ～繰り返す複雑な高齢者のケアサイクルを見据えた～
   菊元　順子（特定医療法人フェニックス）
4. **在宅復帰に向けたリハビリの一考察**
   ～在宅復帰に向けた課題とご利用者の気持ちに着目して～
   嶋田　昌弘（医療法人啓友会　介護老人保健施設　洛西けいゆうの里リハビリ部）
5. **歩行訓練・立位保持を取入れながらＡＤＬ向上を目指す**
   ～特定優良老人ホーム（在宅）での暮らしの継続～
   池　裕子（社会福祉法人秦ダイヤライフ福祉会　有料老人ホーム千金の一日）
6. **伝えたい！生の声！～在宅サービス利用者の想いと自立支援の形～**
   新垣　卓哉（社会福祉法人慶生会　慶生会訪問看護ステーション住道出張所）
7. **脳死状態にある重症障がい児への訪問看護**
   ～想いに寄り添うことから見えてきたもの～
   斉藤　里美（八戸市医師会訪問看護ステーション）**フォローアップ対象**
8. **ＡＬＳ患者支援を通して学んだケアマネジャーの役割**
   ～寄り添うことで得た信頼関係～
   本田　佐和子（秀峰会　豊穣の大地介護保険センター）
9. **ワンストップ　総合相談センターの機能を高める**
   ～真の課題を発見、継続的支援を行うために～
   田中　真弓（特定医療法人フェニックス）
10. **お兄ちゃんやったら、何とかしてくれる……？**
    高原　喜子（菜の花ケアプランセンター）
11. **「今日の授業おもしろかったですよ」～高齢者の塾で科学の授業～**
    山下　英明（みぞべ元気塾）**フォローアップ対象**
12. **在宅生活の継続に向けて**
    細野　志信（医療法人啓友会　小規模多機能ホームゆ～らり）
13. **「在宅」希望に寄り添う**
    山口幸人（社会福祉法人同伸会　瑞光園ホームヘルパーステーション）
    フォローアップ対象
14. **転倒を繰り返すパーキンソン病利用者の「住み慣れた家で生活したい」という思いを支える訪問看護の役割**
    和田　公香（訪問看護ステーションハートフリーやすらぎ）

カテゴリー２　「人材育成・教育」

座長：桑原　由次
野瀬　博子（社会福祉法人あさか会）

1. **ベテランＰＴから学ぶこと**
   近藤　眞理子（滝の水　憩いの学校）
2. **得意を活かした全員参加の人材育成への取り組み**
   池畠　公一（社会福祉法人秦ダイヤライフ福祉会　ユニット型特別養護老人ホーム絆の広場）
3. **負担の少ない介護の実践にて働きやすい職場環境を目指して**
   ～介護ロボット・福祉用具を使いこなせる人材の育成～
   新　智哉（老人保健施設ラポール吉井）
4. **ゆうらいふの理念を実践するための全体研修**
   ～グループワーク方式で全員参加をめざす～
   下野　達郎（特定非営利活動法人ゆうらいふ　ゆうらいふヘルパーステーション）
5. **「私にも出来た！」が自信となり成長につながる**
   ～外出支援・非薬物療法・自立支援への取り組みを通して～
   三木　真由美（社会福祉法人秦ダイヤライフ福祉会　グループホームあざみの家）
6. **退院後生活状況の調査により見えてきた課題**
   ―移動と排泄関連動作に着目して―
   階上　弘樹（メディカルコート八戸西病院リハビリテーション部）
   フォローアップ対象

カテゴリー３　「薬と生活」

座長：萩田　均司（つばめファーマシー）
道明　雅代（一般社団法人大阪府薬剤師会　副会長）

1. **当薬局における錠剤粉砕調剤の実例**
   森谷　貴史（友愛薬局小金原店）
2. **ＩＣＴを活用した保険薬剤師と多職種との連携事例**
   根本　昌幸（株式会社アインファーマシーズ　アイン薬局八戸店）
   フォローアップ対象
3. **訪問薬剤はどのように必要なのか**
   ～私にはおばあちゃんがたくさんいます！～
   寺本　理智（アイ薬局）

カテゴリー４　「訪問サービス・通所サービス」

座長：福田　善晴（医療法人大和会　福田心臓消化器内科）
山田　登喜子（特定非営利活動法人　ゆうらいふ）

1. **通所リハビリ利用者様の介護度の変化と当施設の取り組み**
   内田　静香（あいち診療会野並　通所リハビリテーション）
2. **平成２年度介護報酬から今日までの取り組み**
   松井　友子（医療法人宮城会　通所リハビリテーション　けやき倶楽部）
3. **周辺症状が落ち着き、デイサービスを継続して利用したい**
   渡久山　忍（社会福祉法人秦ダイヤライフ福祉会　デイサービスセンター風の大地）
4. **通所介護における自立支援～「思い」をくみ取り、生かす介護～**
   劔熊　恵亮（リハビリサポートゆうらいふ）
5. **卓球療法の取り組みと行動変容の成果**
   ～卓球療法を展開し地域、利用者様の活動範囲を拡げる～
   吉国　親吾（特定医療法人フェニックス）
6. **在宅生活者を支えるための看護小規模多機能型居宅介護事業所の役割**
   橋爪　明美（医療法人あいち診療会　憩いの庄）
7. **心不全の自己管理を支える訪問看護の役割**
   渕上　操（ゆうらいふナースステーション）
8. **訪問 ST の介入により家族・他職種の食への意識が変わりチームとして食支援が可能となった症例**
   鈴木　瑠美（医療法人あいち診療会　のなみ訪問看護ステーション）
9. **老々介護を支える援助とは**
   蓮尾ゆかり（医療法人社団都会　ホームヘルプステーションひまわり）
10. **「ゴミ屋敷からの脱出・・・お金は何処に？」**
    ～家族と一緒に暮らすことを支えるために・・その後～
    山下　和美（菜の花ヘルパーステーション）**フォローアップ対象**

カテゴリー５　「地域で支える認知症ケア」

座長：村山善紀（医療法人村山内科）
笹山志帆子（訪問看護ステーション　ハートフリーやすらぎ）

1. **認知症の高齢者やご家族が、安心して暮らせる地域づくりの一環として**
   西村　徹（介護支援センターみやぎⅡ）
2. **グループホームの介護計画に理学療法士が参画した経験**
   広田　創（医療法人社団実幸会　いらはら診療所）
3. **「懐かしい紙芝居で認知症ケア」**
   川部　伊佐夫（医療法人社団萌気会　萌気園有料老人ホームすみれ草）
4. **アノナチュラル～天然事務員の超天然事件簿～**
   大平　房子（医療法人社団萌気会　萌気園通所リハビリセンター浦佐）
5. **お母さん！笑顔でおってな！「続・ふみふみカルタ」**
   ～出逢いの瞬間を大切に積み重ねたい～
   埴岡　加代子（医療法人啓友会　グループホームめぐみ　めぐみ２）
   フォローアップ対象
6. **その人がその人らしく・・・!(^^)!**
   ～地域と共に独居・認知症高齢者を支える～
   古賀　由起子（小規模多機能型居宅介護事業所　悠久の里）
7. **充実した日々を編む～手作業を通しての関わり～**
   佐藤　佳範（萌気園浦佐有料老人ホーム『ハイマート・ハイム島田』）
8. **ほっこりできるふれあい～私達のできる事～**
   上門　美苑（医療法人社団都会　グループホーム一乗寺ほっこり庵）

カテゴリー６　「口腔ケアと栄養管理」

座長：大川　延也（大川歯科医院）
渡邉　充春（わたなべ往診歯科）

1. **認知症患者さんに喜んでもらえる義歯治療**
   加藤　武彦（加藤歯科医院）
2. **噛んで食べるということがＱＯＬの改善につながった１症例**
   鈴木　邦治（鈴木歯科）
3. **口腔機能と食形態のミスマッチを改善した１例**
   藤原　修志（藤原歯科医院　全国訪問歯科研究会）
4. **人生の最終段階における口から自力で食べられる喜びと大切さ**
   江川　萌美（特定非営利活動法人ゆうらいふ　小規模多機能型居宅介護事業所花梨）
5. **施設での義歯治療により、食形態改善と笑顔を取り戻す**
   大谷　学（医療法人　大谷歯科）
6. **誤嚥を予防した経口摂取の維持で全身状態が改善した一例**
   坂本　賢一（医療法人みどりグループ　リハビリセンター大村）

カテゴリー７　「これからの地域包括ケア」

座長：金田　弘子（森本外科・脳神経外科医院）
草野　孝文（医療法人アエバ会　アエバ外科病院）

1. **特養における終末期ケアの考え方について～実例をとおして～**
   西村　智弘（社会福祉法人淳涌界　特別養護老人ホームおふくろの家）
2. **「ほとんど在宅、ときどき施設」を支える看護師～老人保健施設看護師は生活を支える影のマルチプレーヤー～**
   小林　あいこ（特定医療法人フェニックス　老人保健施設リハトピア・フェニックス）
3. **地域で療養者を支える訪問看護ステーションの役割**
   長﨑　菜穂子（医療法人あいち診療会　のなみ訪問看護ステーション）
4. **ＳＴＯＰ！ひきこもり、ひとりっきり、寝たきり～アルコール依存症の独居高齢者に訪問看護師が働きかけたこと～**
   輪賀　仁美（医療法人菜の花会　菜の花訪問看護ステーション）
5. **「新現役世代」に期待する～定年後世代男組が地域で躍動する～**
   山田　美穂（各務原市地域包括支援センター　フェニックス･かかみ野）
6. **在宅高齢者の居場所作りと日常生活援助**
   山崎　愛子（ＮＰＯ法人囲む会ヘリオフレンド）
7. **一般高齢者に対して交流のツールとして健康カルタを取り入れた研究～団地に住む高齢者の介護予防に関わるリーダーの支援～**
   小石　真子（ふみふみカルタ研究会）
8. **多機能型精神科診療所をベースとした地域包括ケアの試み**
   今村　達弥（ささえ愛よろずクリニック）
9. **これからの地域包括ケア、地域共生社会へ　入口は地域から　客体から主体へ　主役は市民！**
   飯島　惠子（ゆいの里　ソーシャルケアワーカー集団しもつかれいど）
10. **「私の体力が続く限り、在宅で介護をしていきたい」－過疎地での医療・介護サービス利用の現状－**
    今村　太泉（医療法人坂梨ハート会　坂梨ハートクリニック）
11. **地域ネットワークづくりにおける「個人情報の壁」**
    中島　麻衣子（伊勢崎市地域包括支援センター東）
12. **奄美大島の医療資源の乏しい村で「自分らしい暮らしを人生の最後まで続ける」ための新たな取り組みへの支援**
    徳田　英弘（医療法人ネリヤ　ファミリークリニックネリヤ）
13. **広がれ、訪問栄養食事指導！**
    伊藤　清世（医療法人社団静実会ないとうクリニック）

カテゴリー８　「新しい試み」

座長：吉永　隆行（トーヨー・プリント社）
長田　栄一（長田医院）

1. **松戸市在宅医療・介護連携支援センターの紹介**
   佐々木　穣史（医療法人社団実幸会　いらはら診療所）
2. **かかりつけ医療機関としての取り組みについて**
   横田　康弘（医療法人大和会　福田心臓・消化器内科）
3. **住吉診療所からの市民講座の取り組みを通じて～参加型講座の実践から得たもの～**
   雑賀　寛政（医療法人ハートフリーやすらぎ）
4. **グループホームへのご家族の関わり**
   細谷　喜久美（医療法人あづま会　グループホームおおいど）
5. **～転職で 30 歳を過ぎてから介護の世界～～私にとっての新しい試み～**
   恩田　昌恵（生活介護サービス株式会社　グループホームさくら草）
6. グループホーム内で大腿骨転子部骨折後保存療法を行い感じたこと
   濱田　颯太（医療法人宮城会　宮城医院）
7. **電子太鼓とチェアヨガ**
   田中　いづみ（医療法人啓友会　介護老人保健施設洛西けいゆうの里通所リハビリテーション）
8. **居宅介護支援課におけるリスクマネジメントへの取り組み（ＳＨＥＬＬ分析手法を用いて）パート２**
   常見　美子（ケアプランセンターおおいど）**フォローアップ対象**
9. **ＩＣＴ活用しての特養看護師業務改善**
   松木　裕子（特別養護老人ホームあざみの里）
10. **リハビリテーションネットワークから地域を元気に！**
    文野　勝利（社会福祉法人慶生会）
11. **自己研究して判明したこと**
    小林　あゆみ（社会福祉法人桐鈴会　工房とんとん）
12. **純真なこどもたち**
    内村　奈未（医療法人　社団　都会　渡辺西賀茂診療所ホームヘルプステーションであい

カテゴリー９　「緩和ケアと看取り」

座長：三嶋泰之（さくら風の村訪問診療所）
西村　和美（菜の花訪問看護ステーション）

1. **有床診療所の訪問診療の有用性について**
   小川　越史（鶴ヶ島在宅医療診療所）
2. **サ高住での看取り～医療法人運営ゆえの宿命～**
   繁野　誠（みつよし優心舘）
3. **筋萎縮性側索硬化症患者のその人らしい最期を支えるために～アドバンスケアプランニングの重要性～**
   清水　節子（清水医院　在宅・緩和ケアクリニック）
4. **その連携に”愛”はありますか？～訪問看護師だからこそできること～**
   茂木　香苗（秀峰会　訪問看護リハビリステーション豊穣の大地）
5. **ターミナル期の独居の高齢者が抱くトータルペインから訪問看護師の役割を考える**
   横田　雄士（訪問看護ステーション　ハートフリーやすらぎ）
6. **「あっかんべ」でありがとう～看護小規模多機能サービスと看取り**
   斎藤　忠雄（斎藤内科クリニック　看護小規模多機能ケアステーションるぴなす）
7. **看多機が地域の看取りを変えることができるか**
   武田　幸弘（ないとうクリニック複合サービスセンター看護小規模　多機能型居宅介護かがやき）
8. **寄り添うケア～看取りの実践を通して感じたこと～**
   小川　明子（グループホーム桐の花）
9. **「ここがよか」と言われた方の看取りについて～本人の思いに沿った高齢者住宅での支援～**
   西園　満（フラワーホームホームヘルプサービス）
10. **人生の最期を決める「意思決定支援」～ケアマネジャーとしての関わりを振り返って～**
    深田　知洋江（ゆうらいふ居宅介護支援事業所）
11. **利用者が望む余生を最期まで自然に支える介護支援専門員としての役割について**
    米田　泰弘（居宅介護支援事業所ハートフリー）

リレー寄稿

前回の鹿児島県奄美市の徳田 英弘様からのバトンは、栃木県のゆいの里　飯島恵子さんに渡されました。
ゆいの里は、相互扶助の精神に基づき、介護や支援を必要とする人及びその家族に対して行う、在宅支援、自立支援、子育て支援に関する事業を通し、地域福祉の向上並びに地域コミュニティ作りに寄与することを目的としています。

写真３ 大橋グレース愛喜恵さんと
飯島恵子（H30 年夏）

地域包括ケアから地域共生社会へ
～市民が主役！まるごとケアのまちづくり～

―栃木県那須塩原市―

在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
飯島 恵子（社会福祉士・認定ケアマネジャー　ゆいの里／在宅ケアネットワーク栃木事務局）

写真２「転ばぬ先の知恵教室」風景　公民館利用の高齢者のつどい場

こんにちは、ゆいの里のコミュニティ・ケアマネジャー飯島恵子です。「在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク」とも長いおつきあいになりました。わたしは、このネットワークの「ポチ・市民」がとても好きです。様々な専門職の団体、学会がありますが、「市民」が位置づけられ、在宅ケアの専門職と共に市民・当事者が、ここまで歩んできたことは、この時代に貴重なことと考えています。

地域包括ケアシステムの植木鉢の絵、3 枚の葉っぱ（医療・看護、介護・リハビリテーション、保健・福祉）の専門職領域が元気に育つためには、土（介護予防・生活支援）、植木鉢（すまいとすまい方）、受け皿（本人の選択と本人・家族の心構え）の地域やひとり一人の市民が存在しないと葉っぱを支え育てていくことは出来ません。今や、地域包括ケアから地域共生社会づくりの時代へ、2025 年を超えて、この国の未来を見据えたまるごとケアのまちづくりは、市民・当事者を主体に専門職と協働していくことが求められています。

ゆいの里のゆい（結）は、地域の中でお互い様の助け合い。1996年から、住民参加型在宅支援サービスの活動（移送サービス、デイホーム、街中サロンなど）、地域の資源を活かしてまちの中に安心な居場所づくりをしてきました。2000 年 NPO 法人となり、介護保険開始と同時に通所、居宅、訪問介護の事業所として活動してきましたが、昨年、介護保険事業を廃止し、今夏、NPO 法人を解散して元の任意団体に戻り、従来からの制度に縛られない活動、コミュニティ・ケアマネジメントに専念しています。

“ 地域包括ケアの見える化 ”

市民への見える化はデータではありません。お祭りの仮装大会や RUN 伴、映画ケアニン上映会、自治会や小学校で認知症サポーター養成講座、専門職と市民が共に語り合うカフェや市民公開講座の開催など、機会を捉え地域に伝えていく活動と並行して、市民が主体の居場所つくり、公民館で「転ばぬ先の知恵教室」（写真１）、認知症当事者のつどい場「オレンジカフェにしなす」を市民活動の仲間たちや地域包括支援センターや生活支援コーディネーターと協力して展開しています。

主役は市民。まるごとケアのまちづくりは、まだまだ続く。

「在宅ケアネットワーク栃木 since 1996」ご紹介

1996年 6 月の「在宅ケアを支える診療所全国ネットワーク（現 NPO 法人在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク」北関東分科会「栃木会議」をきっかけに、太田秀樹さん、趙達来さんの声掛けで発足。現在 11 名の世話人（医師 8、薬剤師 1、福祉職 3）を中心に活動継続中。毎年 2 月 11 日、自治医科大学地域医療情報研修センターを会場に「在宅ケアネットワーク栃木」市民に開かれた総会とシンポジウムを開催。毎回、県内外から約 500 名の専門職、学生、当事者、市民が参加して顔の見える関係を構築しています。　（写真2 会場風景）

2011年 2 月 11 日東日本大震災の1ヶ月前、わたしが大会長を務めた第 15 回大会、難病の当事者として「これまでとこれからの夢」をシンポジウムで語った那須塩原市在住の大橋グレース愛喜恵さん（写真3）は、この直後、大阪に 1 人移住して自立生活に挑戦し、NHK の E テレ「バリバラ」のレギュラーとしても活躍。そして本年 8 月「日本には前例のない“メントリング”制度を持ち帰るため、私はアメリカに行く。」とアメリカの進んだ福祉制度を学ぶために、人工呼吸器と電動車いすと介助者と共にシカゴに飛び立ちました。

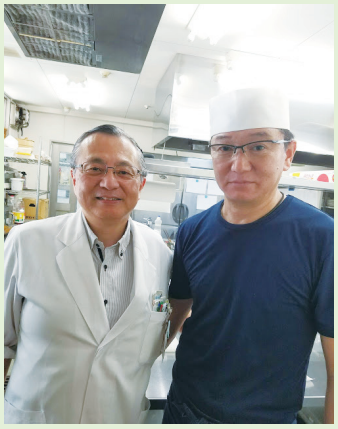
写真１ 在宅ケアネットワーク栃木 風景
（自治医科大学地域医療情報研修センター）

人権と尊厳を大切に、当事者の元気を奪わない、その人らしいあたりまえの暮らしを支える在宅支援・自立支援、自己決定。在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワークのこれからに期待しています。

次回は、埼玉県 医）地の塩会 とだ小林医院 小林 洋一さんにお願いします。（飯島 恵子）

私の
こだわり

『食』～食べれば幸せ！笑顔のために



筆者（左）と料理長

萩田 均司
代表取締役
薬剤師
介護支援専門員
（宮崎県宮崎市）

私は、美味しい料理を食べたりうまい酒を飲んだりすることはもちろん好きである。しかし、ここで紹介するのは『食』と言っても、私自身が食べる食生活の事ではない。私が経営する住宅型有料老人ホームの食事の事である。経営の効率から、どうしても提供できる食事には限界がある。県民所得の低い地方では、高額な入居費を設定することはできないが、食費は１日３食＋おやつで、当初は 1000 円、現在は 1500 円に設定している。そんな中、開設当初から栄養士と一流の腕を持った料理長を雇用し続けている。

初代料理長は、洋食が得意でローストビーフや、フルーツの飾りつけを得意としていた。刺身の盛り付けも見事で、以前ホテルのレストランで働いていた経験が生きていた。定年で、料理長は退職となり、２代目の料理長は昨年から働いている。２代目の料理長は、寿司屋や和食を中心とした料理店で働いていた。得意料理はもちろん寿司や焼き魚、天ぷら、とんかつで、出来栄え味は見事である。２代目料理長が来てから驚くことが有った。それは、栄養士が初代料理長の時と同じ様に献立を作成し、カロリー管理も行っているのだが、施設の入居者やデイサービス利用者の体重が増えてきたことである。

入居者や利用者は、食事を残すことが少なくなり、食事を非常に楽しみにしている。

人間何歳になっても、食べることは幸せである。食事がより美味しい事は、より幸福につながる。ましてや、施設に入所となると外出する機会も少なくなり、デイサービスのアクティビティーや食事が楽しみとなる。昨年からは、看取りを行った入居者の家族と行ったグリーフケアのデスカンファレンスにちょっとした寿司の弁当を出したり、料理長が取り寄せたマグロの解体ショーを行ったり、夏には流しそうめんを行ったり、『食』に関するイベントをいろいろ実施してきた。食事を自前で提供し続ける事は非常に厳しいが、入所者や利用者は美味しいものを食べ、笑顔になるのを見ると、『食』にこだわり続けてきて本当に良かったと思う。結果、入所者は数年たっても要介護度が入所当時と殆ど変わらない。

今後も『食』にこだわり続け、笑顔の絶えない施設運営を続けていきたい。

行事食

株式会社ケアフェニックス
〒 880-0916
宮崎県宮崎市大字恒久 5314 番地 5
住宅型有料老人ホームケアヴィレッタナチュらいふ恒久、
通所介護ナチュらいふ、訪問介護ナチュらいふ、喫茶菜ちゅらふ

有限会社メディフェニックスコーポレーション
薬局つばめファーマシー
〒 880-0916
宮崎県宮崎市恒久 5073 番地
http://www.phoenix-hd.com/about.html

理事会報告

第５回理事会

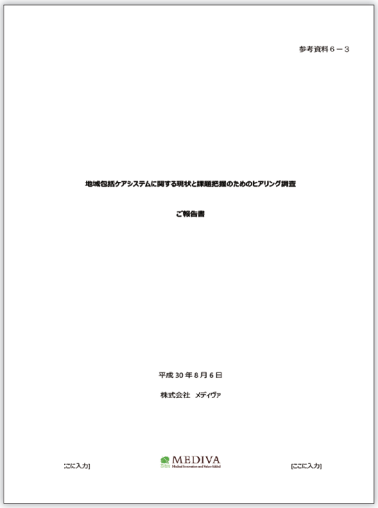
開催日時：2018 年 8 月 26 日（日）09：00　～ 12：00
開催場所：貸会議室プラザ八重洲北口　３階６号室
出席理事：秋山、石田、苛原、大石、大川、大澤、岡崎、小倉、金井、黒岩、桑原、多胡、長、中嶋(久)、畑、萩田、三嶋、村山、吉永　（敬称略）
以下オブザーバー
藤村（監事）、大阪大会事務局次長、東京大会事務局　（敬称略）

全国の集いの直前にあたるため、岡崎大会長より会員の皆様向けにさらに多くの参加の呼びかけがありましたので、まだ申し込まれていない方がいらっしゃれば WEB より申し込みをお願いします。事前申し込みは８月 31 日までです。

この１年間の事業報告の中で大石理事にお願いしておりました。『地域包括ケアシステムに関する現状と課題把握のためのヒアリング調査』の報告が提出されました。
全国各地の 1731 自治体に対してのアンケートで（回答は 213）、各地域における現状が良くまとめられています。取り組みに対する温度差も含め、その難しさも浮き彫りになっています。
会員の皆様の地元に対しての対応に是非ご利用ください。
この結果は、全国の集い in Osaka 2018 の理事会企画において、非常に良い取り組みをされている自治体の担当者にご登壇をお願いしております。２日目の午前中にこのシンポジウムを設けておりますので、会員の皆様方におかれましては、今大会に参加頂き、地元に持ち帰っていただくよう改めてお願い申し上げます。

第５回理事会の様子

なお、この報告書はホームページからも閲覧可能です。


参考資料６－３

地域包括ケアシステムに関する現状と課題把握のためのヒアリング調査

ご報告書

平成 30 年 8 月 6 日

株式会社 メディヴァ

MEDIVA

第24回 全国の集い in Osaka 2018 プレ大会　報告

外国人技能実習制度の光と影

日時：2018 年 8 月 25 日
場所：TKP 東京駅前カンファレンスセンター
（東京都中央区八重洲 1-5-20）

活動予定

第24回　全国の集い in Osaka 2018
平成30年9月23日～24日
場所：大阪国際交流センター

第一回　理事会
平成30年9月24日
場所：大阪

第二回　理事会
平成30年11月25日
場所：東京

第三回　理事会
平成31年2月24日
場所：東京

第四回　理事会
平成31年8月25日
場所：東京

風の萌 バックナンバー公開

「風の萌」の配布対象は会員限定の為、発行より１年の経過を見て当会ホームページにアップロードしていました。今回から広く皆様に見て頂く為、創刊号から今回の 43 号までの全冊をアップ致しました。

風の萌
2018年9月10日発行（第043号）
頒　価：１部50円　会員は無料
◆ 発行　特定非営利活動法人（ＮＰＯ）
在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
TEL：052-848-8800　FAX：052-848-8801
http://www.home-care.ne.jp/net/　E-mail:zenkokunet@home-care.ne.jp
〒458-0049 愛知県名古屋市天白区福池2-330-2 あいち診療所野並内
◆ 編集「風の萌」編集委員

∞∞∞編集後記∞∞∞

風の萌 43 号をお届けします。
少しづつ、朝晩に秋の気配を感じる様になりました。

今年の夏は、台風に大雨と災害が常より多かった様に思います。最近では大阪・四国の台風と北海道の地震が有りました。被害に会われた方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

（東京事務局／犬童）